



8月19日は バイクの日

二輪車は、便利で経済的な移動手段としての利用だけでなく、ファッション性や乗り心地の良さ、季節や情景を肌で感じることができる趣味の乗り物として、若者から高齢者まで広く利用されています。

県内の二輪車乗車中の**交通死亡事故**は、6月末現在で**4件**発生しており、昨年の同時期と比較して**2件増加**しています。気軽な乗り物と過信せず、バイク特有の危険性を考慮しながら、安全な乗り方で交通事故防止に努めましょう。

また、この時期は暑さにより体も疲れやすく、注意力や集中力が低下し、運転操作や安全確認がおろそかになりがちです。速度・車間距離・周囲の安全をしっかりと確認し、運転に集中することを心掛けましょう。

ヘルメット・プロテクターを着用しましょう!



PSCマーク



JISマーク



バイクは自動車と違い、身を守ってくれる車体やシートベルトがありませんので、できる限り身を守る装備をすることが大切です。

体の露出がなるべく少なくなるような服装で、ヘルメットやプロテクター、エアバッグジャケット等で頭部や胸部を保護し、被害軽減を図りましょう!

ヘルメットはPSCマークかJISマークの付いたものを使い、あごひもは指が1本入る程度に調整して確実に締めるなど、正しく着用しましょう!



～バイクの事故防止ポイント～

1 速度の出し過ぎに注意!

スピードを出せば出すほど危険は増します。安全速度を必ず守りましょう。

2 十分な車間距離の確保!

四輪車と接近しすぎるとその死角となったり、遠近感の錯覚が起きたりしますので車間距離は十分にとりましょう。

3 体にあったバイクを選択!

バイクの走行は、人車一体となる必要があります。自分の体や技量にあったバイクを選びましょう。

4 車の間のすり抜けは危険!

バイクで車の間をすり抜けたり、車の間を縫うように車線変更を繰り返したりする運転は、周囲の運転者に不安を与える上、重大事故の原因となります。

5 道路状況、天候に応じた運転を!

カーブ付近に転がった小石や砂、雨の日のマンホールや白線などの上は滑りやすく危険なので、状況に応じた運転をしましょう。

